

通算第172号

1967~1968-7-12

函館北ロータリークラブ

第156回例会

例会場 駅前拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

めぐり合せとなり、大変弱つて居ります。当クラブは初代会長として、新さんで発足して、基礎をきつき、次いで遠藤会長～飯田会長さんと、良き御指導のもとに成長して参り、本年5月には予定よりも早く北クラブ事業の柱と頼んでいた七重浜慰霊碑の植樹が実行されました事は、函館及び函館東R、Cの多大な御援助による事は多大であります。新元会長の御尽力の賜と存じます。この事業は将来とも当クラブが見守つて行かねばなりません。それにしても、新会員の御自愛を祈つてやみません。次に前年度後半からクラブの出席率が、向上致しました事は同慶に勘えませぬ。今迄は先輩クラブの方々から、歴々と御忠告を受けて参りましたが、最近はや々先輩を追い抜く事を期待し努力致したいと存じます。

今後共に地区の発展と共に会員の増加を図り常に友好を深め、新睦を密にする事を念願して居ります。私はこの前途ある意気盛んな会員の中で、ロータリー精神を勉強し、ルーサーE、ホッジス新会長の指針に従つて奉仕に挺身したいと思ひます。

● 勝木分区代理 挨拶

分区代理とは、ガバナーの下で、その分区の運営を見守る仕事、私は第1分区(森、江差、函館、函館東、函館北)を担当致します。ロータリー精神で努力致しますので、皆様の御支援賜りたく、御願ひ申し上げます。

● 新谷函館東R、C会長 挨拶

東クラブは本年創立10周年記念を迎えます。私の勤務する遺愛女子高校も本年85周年記念式典があります。交換学生で来日するアメリカの女子学生の、シリ、プレストフェルトさんは当校に留学が決定し、尚私の家に2ヶ月間、寄宿致します。斯様な状態の所に私は会長にされました。全く当り年です。希望と不安で錯綜した気分ですが、皆様の御支援とロータリー精神で頑張ります

● 飯田前会長 挨拶

遠藤前会長が会長とは帽子の様なもので、帽子の下の頭が回転して良き方向に進むものだとの言葉を、私が会長就任の際に申されました。私は就任早々に不慮の病で入院致し岡田がガバナー公式訪問の際には、切齒拒腕も出来ない状態で病床に臥して居り、皆様に御迷惑かけました。

今後はイラン国王の様な風格ある侯野会長の指導を得て、当クラブの格調ある雰囲気維持する様、努力致す決心で居ります。

● 出席報告

- 1、本日の状況 会員数35名 出席28名 欠席7名
- 2、前回の確定出席率 会員数35名 当日出席28名 他クラブ出席7名
計35名 100%
- 3、他クラブの状況 函館 93、51% 函館東97、3%

- 司会 侯野会長 ● 斉唱 我等の生業
- ビジター 高岡研一君(大阪住吉) 猪股俊雄君(室蘭)
相馬哲平君外14名(函館) 飯田貞一君外10名(函館東)

● 幹事報告

1、例会終了後理事会を行ないます。

● ニニニ箱

1、函館R、C 桑会長より御寄附をいただき、有難うございました。

2、市川会員 金賞(東北々海道射撃大会優勝)

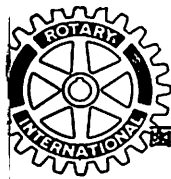
● 桑函館R、C会長挨拶

先週侯野会長が函館R、Cに出席されて、北クラブは函館クラブにとって、孫の様なものであるから、今後共に御指導を賜りたいと御丁寧なる挨拶がありました。寧ろ私の方が侯野先生の孫の様に感じられて、実感が湧きません。今般私は函館R、Cの会長を仰せつかりましたが、相馬哲平氏以後4代共に、大正生れの者が、会長ですが来期は明治生れの方になつて頂きたいと存じて居ります。本年は才350地区がガバナーとして函館R、Cより小畑先生がなられて居りますので、才1地区は他クラブの模範になりたいと存じ、関係クラブの御協力を御願ひ致します。

● 前才1分区代理 渡辺綱彦氏挨拶

分区代理の節は、色々御協力賜りまして御礼申し上げます。お蔭で私も色々勉強させて頂きました。北クラブは発会以来出席率が低調を極め、昨年岡田ガバナー正式訪問の際も特に江差と北クラブの出席率に就いて相当懸念されて居りました。然るに最近頃に出席率が上昇し、他クラブを凌駕する様な現状で、私も安心して分区代理を退任出来る次才で、出席率の向上はクラブ活動も立派に出来る重大要素であり、今後侯野新会長を中心として、益々展覧される事を祈念致します。

● 遠藤出席委員長



通算第173号

1967~1968-7-19

函館北ロータリークラブ

第157回例会

例会場 拓銀駅前
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

当クラブの出席率が最近向上した事に就いて、他クラブの方々より賞められる様になりました事は誠に喜ばしい事です。以前私が属しました函館東R、Cの時、当時の富田会長も盛んに出席率について苦勞しておられました。私も当クラブの会長を勤めた時は、矢張り出席率に就いて心配は致しましたが、会員自体の意欲がなくば、恒久的には向上は望めないと考えましたので、特別の手段を採りませんでした。出席率の向上が、クラブ活動の重大なる要素であるとしても、立派な業績を挙げ得るとは限りません。現在函館R、C50%、函館東R、C35%、北R、C15%の負担率で他クラブの恩恵を受けて居ります。今後共に他クラブの協力を御願ひすると共に、我々も努力致したいと存じます。

出席報告

- 1、本日の状況 会員数35名 出席28名 欠席7名
- 2、前回の確定率 会員数35名 出席28名 他クラブ出席6名
合計34名 出席率 97、14%
- 3、6月の平均出席率 95.67%
(函館91.59% 函館東94.93%)

才350地区協議会報告 俣野次期会長

日時 1967年6月18日 9:30~18:00

場所 北海道自治会館

次期会長 ルーサーH・ホツジス

ロータリアンとしての、あなたの資格を効果的に、

- 1、ロータリーの活動に自ら進んで参加すること
- 2、あなたの職業に成功を収めることにより、指導力を発揮すること
- 3、あなたの地域社会や、国家に対し忠誠を捧げ、あらゆる機会に奉仕すること
- 4、他国の人々の問題によく通じこれが理解を深めること

小畑次期ガバナーより上記メッセージを中心としたお話があり、特に国際ロータリーの会合に出席し、欧米諸国を廻つて感じた事は、東南アジア及びその附近に対する国際奉仕事業は、日本ロータリーの責任であると痛感させられたとの言葉が特に印象深く感じました。

才350地区協議会報告 水上次期幹事

小畑ガバナー、エレクトの主催する研究討論会が2時間、午後は会長、幹事、会報委員、分区分代理の四部門にわかれて、私は幹事部門で継続バスターガバナー司会で約2時間、教育を受けました。懇親会も盛大であり、ロータリー楽団の演奏は素晴らしいと共に、ロータリアン同志の温かな友情を肌感する雰囲気は是非、会員が今後出来るだけ出席出来る様に切望致す次第です。

本日のプログラム
連絡船の機関部 青函連絡船機関長 宮崎米作氏

- 司会 俣野会長 斉唱 手に手つないで
- ゲスト 武内収太氏 (元函館市博物館長)
- ビジター 河村定勝君外9名 (函館) 田中祐治君外6名 (函館東)
- 幹事報告

- 1、例会終了後理事会を行ないます。
- 2、本夕6時より本年度一回のクラブアツェンブリーを行ないます。
- 3、交換学生として渡米が予定されて居りました原百合子さんは、7月15日出発されましたが、ロータリーの皆様に御礼の伝言がありました。

ニコニコ箱

- 1、若山会員 (函館R、C) 御寄附有難うございました。

卓話 中国陶磁器に就いて; 武内収太先生

憧憬と熱意を傾注して玉の美を採求した古代中国は文化の高い国で、特に陶磁器の美術的位置は世界に冠たるものがあります。昔より「小人玉を抱きて、罪あり、とか「玉音、とかの言葉がある様に、玉の美 陶器に求めたのは、春秋の時代所謂周の時代からで、中国史を繙く時、陶によつて政を知る、と言う程、陶磁器の消長は政治力が影響して居りました。

- 1、後漢の時代 (今から2000年前) から隨の時代は、陶磁器の揺籃期で、うわぐすり、も余り使用されなかつた様で、青磁はありませんでした。
- 2、唐時代 (西歴700年~900年) は首都洛陽を中心として文化の華が咲き中国民族が外部に溢れる様な勢で膨脹発展した時期の為、一体に陶器のデザインは、膨脹した感じ、ふくよか感じのものが多く、うわぐすり、も所謂シルクロードを経て欧州の「火度」のものが輸入されて、製品も大分良質のものが生産されて参りました。
- 3、宋時代 (南宋、北宋) は唐時代に引継いで学問が尊敬された時期で、陶磁器も美の極限をゆく様なシャープな感じのもの、玉に近い色彩、青磁等、作られました。現在正倉院にある国宝級の陶磁器はこの唐、宋時代に我國の